

令和3年度 第3学期始業式 校長講話

新年、明けましておめでとうございます。どのような年末・年始を過ごしたでしょうか。冬休みに入る頃は新型コロナウイルスの感染状況が比較的落ち着いていましたので、帰省してきた家族や親戚と会ったり、県外へ出かけた人もいるかと思えます。年末・年始には日頃会えない人と交流することが当たり前であって、行動を自粛することではなかったことを思えば、コロナ禍で日本人の習慣が変わってしまうような気持ちにすらなります。

今年の冬休みは17日間でした。その間、実習、課外、部活動等、それぞれに有意義な時間を過ごしたと思います。ご存じのとおり、部活動では男子バレーボール部が春高バレー全国大会初出場で第3位と大健闘しました。日南市の皆さんの他、県外在住の日南市に縁のある方々には、大会前からたくさんの応援の言葉をいただいていたと思います。男子バレー部の活躍は、無観客試合ということもあり、生徒や先生方、保護者の方々がそれぞれの場所で応援しておりました。今回の成果を後輩に引き継ぎ、日本一を目指して頑張ってくださいと思います。お疲れさまでした。

また、全商英語スピーチコンテストとマイコンカーラリー2022全国大会も全校を挙げて壮行式を行いました。英語スピーチコンテストの結果は本日発表とのことですが、マイコンカーラリー2022は開催地が広島県ということで大会中止となりました。引き続き、次回に向けてさらに技術を磨き、頑張ってくださいと思います。

年末には吹奏楽部が南郷ハートフルセンターで定期演奏会を行いました。他校と競う大会だけではなく、こうした取組を地道に継続していくことが学校の伝統をつくっていくとともに、一人ひとりの充実した高校生活にも繋がります。

3年生は間もなく卒業を迎えますが、1・2年生につきましては、ぜひ一人ひとりが自分を取り組んでいる分野で一所懸命に頑張ってください、自分が立てた目標の達成に向けて一日一日を大切に過ごしてほしいと願っています。

話は変わりますが、これからの世界、日本、宮崎県はどう変わっていくのか、皆さんも大いに関心があると思います。

私が中学2年生の時、パソコンすら無かった40数年前の話になりますが、「技術科」の先生が授業中の雑談で「お前たちが大人になる頃にはそれぞれの家庭にコンピューターが1台ずつあって、世界中から情報を集めたり、買い物ができたりという便利な世の中が来る。」という話をされたことを覚えています。当時は単なる作り話のようで、大学を卒業した頃にもそういう気配はなかったのですが、今は当たり前になっています。しかも、コンピューターは一家に一台ではなく、スマートフォンの登場により一人に一台の時代になっています。

こういう世の中を牽引している「G A F A」と呼ばれるグーグル、アマゾン、フェイスブック、アップルの4社以外にマイクロソフト、ネットフリックス等の7社、合計11社がこれから世界に大きな影響を与える企業としてあげられています(※)。

ただし、こうした世界的に有名な大企業をものづくりで支える企業では、少子化により人材確保が難しくなっていることを忘れてはならないと思います。そして、そうしたものづくり企業の工場は、海外や国内で言えば関東・中部地方ばかり

にあるわけではなく、宮崎県のような地方にもありますが、地方に行くほど若者の人口は少ないので、本校のような専門高校は貴重な存在となっています。

私は年末の12月29日に宮崎市清武町にある企業の工場を見学させていただきました。その企業が生産している精密部品を作る金型は国内外の有名企業に納品されており、これから工場を拡張しなければならない程の需要があるそうです。そういう企業を支えるのは専門高校の卒業生であり、その工場には日南工業高校を卒業したという社員の方もいらっしゃいました。

精密部品を作るのに必要な金型ですので、社員の技術力が高いのは当然ですが、工場を案内していただきながら感心したのは、作業をされている社員の方々が、私が側を通るとわざわざ帽子を取り気を付けの姿勢で挨拶をされる姿でした。工場なので機械の大きな音が響いていましたが、その中でもはっきりと聞こえる声で挨拶していただいたり、私の質問にわかりやすく答えていただきました。

この企業には会社の経営方針を表す「社是」、社員が守るべき会社の理念や心構えを表した「社訓」の他に「人間目標」というものを掲げておられます。生徒の皆さんには目標を立てて行動することの大切さを話していますが、この企業では「主体的な人間」「まわりを幸福にする人間」「味のある人間」「気配りのできる人間」と4つの目標があり、社是、社訓と併せて壁に掛けておられます。

私は「人間目標」を読みながら自分に欠けているものばかりで恥ずかしい気持ちになるとともに、こういう目標を持った企業だからこそ、社員の方々は、しっかりと挨拶、服装、話し方ができていらっしゃるのだなと納得しました。

この企業のことは一例であり、どの企業でも職種に関係なく、事業を支える基盤に「人間力」があると思います。そして本校にも「潔己」「至道」「振徳」という素晴らしい校訓があり、本校の生徒が守るべき態度や姿勢としています。「やるべきことを誰にも指示されないからやらない」とか、「やってはいけないことを誰にも注意されないからやってもいい」等と解釈することは校訓に反することです。

挨拶、返事、服装等の基本的な行動から見直し、生徒の皆さんの力で「人間力」が身に付けられる学校を日南振徳高校の特色にしてほしいと思います。

3学期はそれぞれの学年のまとめの学期であり、3年生は3年間のまとめの学期です。2022年の目標を立てたことと思いますが、2021年度の仕上げにも取り組んでください。

なお、新型コロナウイルスは感染拡大傾向にあります。大事なことはマスク着用等の基本的な感染対策であると言われていています。昼食時の黙食にも協力をお願いします。

それでは充実した3学期になるよう、健康に気を付けながら学校生活を送ってください。以上で、講話を終わります。

令和4年1月11日

宮崎県立日南振徳高等学校 校長 山下 勉

(※)「2025年を制覇する破壊的企業」(大和書房)
京都大学大学院総合生存学館特任准教授
ハーバード大学客員研究員 山本康正 著